

掲載論文の取り消しについて

2008年10月22日

「立命館人間科学研究」編集委員会

委員長 望月 昭

2005年度「立命館人間科学研究」第8号91-100ページに掲載の、高垣忠一郎 研究ノート「学校現場における思春期支援のためのコンサルテーションのあり方とその意義—R中学・高等学校の「チーム会議」の取り組みから—」（2005. 2. 23受理）について、投稿時において、研究対象となる組織および共同研究者に対する同意が充分になされていなかったこと、ならびに、本文の記述に必要な先行する論文と重複があることが判明いたしました。

「立命館人間科学研究」編集委員会では、上記の研究倫理上の理由によって、当論文を無効とし掲載を取り消すことといたしました。また著者からも本論文の取り下げ依頼を受けております。今後、当該論文を引用されることのないようお願いいたします。人間科学研究所のホームページに掲載されている当該誌の論文についても同様の処置を行っております。

投稿時において、前記の問題について投稿者に充分に確認していなかったこと、また査読時点で先行研究について充分に確認していなかったことは、編集委員会の責任でもあります。関係各位には、大変ご迷惑をおかけしましたことをお詫び申し上げます。

今後は、研究倫理に関わる事項にいっそう留意し編集作業を行いたいと考えております。